

「国際 VHF 無線の諸規制の緩和」に関する意見収集

JSAF 通信委員会はヨット始め多くのプレジャーボートの航行安全を確保がなければするため、他船舶との直接交信を行うための手段として国際的な共通インフラである国際 VHF の普及活動を目指します。そのため、普及の阻害要因となっている以下の諸規制の緩和を求めています。

- ・誰でもが簡単に取得できる無線従事者資格
- ・自ら行うことができる簡便な無線局免許申請
- ・安価な輸入機器が使える技術基準適合証明の緩和 など

こうした活動に対し、メンバーおよびメンバー外の方々からのご意見を求めます。

ご意見記入欄

ヨットレースシーンでの活用が増えなければ、単に通信手段では普及しないと思います
現在、無線機を付けていても、まったく利用シーンが無い状態ですよ

海外レースでのように

レース時のエントリーが無線で可能にする

スタート時間の連絡、カウントダウンの連絡

リコール艇の有無、呼び出しなど、

インショアレースでのインフォメーションを増やせば便利になり、

無いと不便、そんな状況にすれば装備する艇が増えると思います。

レース中も定時交信時にリタイヤ情報、天気予報の情報などを流せば、聞くと
思います
海外のレースでも、いろんな情報を流しています、早く活用出来るようにして下さい。

トロリングの世界、JGFA では定時更新以外にも色々な活用をしているので、必要不
可欠な装備品になり全艇 VHF 無線機を装備しています。

ヨットでは島回りのレースでの定時交信用そんなイメージがあり、ロングレース、島回
りレースをしない艇には不要な装備品、携帯電話でいいや、そんな現状ではないでしょ
うか？

是非、インショアレースでも活用を増やして、VHF 無線機を装備していた方がレースに
は便利、早くそんな環境にして下さい。